



横浜市立富岡小学校

学校だより 12月号



今年も師走を迎えます

～運動会が無事に終わりました～

校長 浅野 修一

早いもので令和3年の師走を迎えました。朝夕の寒さも増して、この時期らしい気候になってきました。ただ、天気の良い朝は、冷たい空気の中でもぽかぽかと暖かい日差しを感じます。お日様は偉大だなと思いながら、その光を全身に受け深呼吸をするのが、私の朝の日課になっています。これから年の瀬に向けて、さらに寒さも厳しさを増してくる中、今は落ち着きを見せている新型コロナウイルス感染状況も今後どうなるかわかりません。これまでやってきた感染対策を継続しながら、自分と周りの人の健康を守る気持ちを持ち続けていきたいものです。

先月に引き続き、11月もこれまでできなかった行事などの教育活動を行うことができました。11月11日に行われた運動会は、昨年に引き続き午前開催とさせていただきましたが、子ども達が力いっぱい活動する姿を見ることができました。応援席ではマスクをして、声ではなく、うちわをたたきながら一生懸命応援したり、徒競走ではマスクを外して全力で走ったりと、子ども達にとっても充実した一日になったのではないのでしょうか。短い練習期間であったにもかかわらず、子ども達はそれぞれが3密に気をつけながら、力いっぱい運動会を楽しみました。

特に6年生は、小学校生活最後の運動会ということで、競技だけではなく係活動や応援団でも中心となって活躍していました。団体演技「富小ソーラン 2021 ～疾風迅雷～」では、気持ちのこもった素晴らしい演技を見せてくれました。子ども達にとって今年の運動会の思い出が、いつまでも心に残ってくれることを願っています。また保護者の皆様には、運動会での各家庭1名（6年生のみ2名）のご参観にご理解とご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。12月16日に予定されている4年体験学習で秋の主要な行事が終了いたします。無事に行って来られるよう、しっかり準備をまいります。

地域の行事も行われるようになりました。11月6日には地域防災拠点訓練・防災フェスタが、富岡小校庭で行われました。天気にも恵まれ、例年以上の地域の方々に参加いただきました。放水体験では、水圧による反動にびっくりする子ども達が多くいましたが、消防団の皆さんに支えていただきながら、安全に貴重な体験をすることができました。他にも体育館で避難所の区割り訓練や防災トイレの展示、炊き出し訓練など、災害時には必ず必要になることについて訓練を通して知ることができました。

災害はいつ起こるかわかりません。今回の防災拠点訓練や毎月1回行っている学校での避難訓練などで、いざという時に自分や他人の命を守る行動を身につけることが大切だと改めて感じました。

新しいコロナウイルス変異株が見つかるなど、なかなか先を見通すことができない状況ですが、これまで通り「今できること」を大切にしながら、子ども達の健康と安全の確保を第一に、あわせて少しずつ日常の教育活動に近づいていけるよう全力で取り組んでまいります。今年の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げますとともに、令和4年も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。